



■ 手塚治虫・虫プログッズコレクター  
林 真司 (はやし しんじ)

1957年、愛知県犬山市生まれ。  
偶然押入の奥から見つけた、幼い頃に読んだ「鉄腕アトム・火星探検の巻」をきっかけにコレクションにのめり込む。  
主に虫プロダクション時代のありとあらゆるグッズ、本などを収集する。  
2006年、愛知北エフエム放送局「明日香の何様だ奥様だ!」に出演。  
その年Cots Fieldで「第1回 熱虫手塚コレクション展」を開催。  
2009年に「第2回 熱虫手塚コレクション展」、  
2012年、犬山城下町に残る国の登録有形文化財「旧堀部家住宅・堀部邸」にて「第3回 熱虫手塚コレクション展」を行う。  
2014年、「開運!なんでも鑑定団」に出演。  
2017年、岐阜県博物館マイミュージアムギャラリーに出演。  
2018年、「月刊 なごや」フランスの「ZOOM JAPON」に掲載。  
・犬山市でデザイナー職に就き、犬山城、犬山うかい、犬山祭などのポスター・リーフレットなどを多数手がける。  
現在は大口町の中学校で、美術教諭として勤める。



夢虫!

熱虫!

懐かしの漫画・アニメコレクション  
～過去から未来への贈り物～

■ 鉄腕アトムコレクター

小池 信純 (こいけ のぶずみ)

1960年、名古屋市生まれ。  
幼少の頃から鉄腕アトムに魅了され漫画を描き、コレクションを始める。  
1981年、講談社「ヤングマガジン」月間漫画新人賞に入選。  
2002年には文芸社よりエッセイ「アトム・ジェネレーション」を発表、ブリキのおもちゃ博物館館長・北原昭久氏の推薦をいただく。  
その後「週刊アスキー」で20週にわたるコラム連載をはじめ、様々な雑誌や新聞、テレビやラジオで紹介される。  
NHK-BS1で放送された手塚治虫特番では、貴重な資料としてコレクションが使われた。  
2006年以降は日本全国各地でコレクション展を開催、これまでに18都道府県33都市で60回以上の展示をし、トークショーも行っている。  
2015年、愛知県知多市にある知多市勤労文化会館の館長を経て、現在は名古屋市東区にあるウィルあいちの所長に就任、イベントやコンサートの企画・運営に携わっている。



2018.7.28(sat)

9.24(mon)

マイミュージアムギャラリーのみの  
入場は無料です

8月28日に一部展示を  
入れ替えます

マイミュージアムギャラリー関連講演会

熱中凝歴人倶楽部プレゼンツ

僕らはあの頃の未来に生きている

日時 / 8月26日(日) 14:00~15:00  
会場 / 岐阜県博物館 けんぱくホール  
定員 / 120名(先着順)  
参加費 / 無料  
申込方法 / 電話(0575-28-3111)または当館ホームページの予約フォームからお申込みください。  
ナビゲーター: 小池 信純(熱中凝歴人倶楽部代表/鉄腕アトムコレクター)  
パネリスト: 林 真司(虫プログッズコレクター)  
渡辺 淑人(手塚治虫作品映像コレクター)  
稲垣 高広(藤子不二雄グッズコレクター)  
小野 和弘(昭和のプラモデルコレクター)